

教育センター重点事項

広島市教育センターでは、平成27年度から平成29年度までの3年間に、「若手教員の育成（採用から3年目）」「推進リーダーの育成」「管理職の育成」の3つの柱に重点をおくとともに、「子どもの理解」「授業づくり」「マネジメント力」の3つの内容に力点をおいて研修を実施しました。こうした取組により、一定の成果をあげることができましたが、教員の大量退職・大量採用等、人材育成上の課題が当面予想されることから、引き続き、「3つの柱」と「3つの内容」に重点をおいた研修を実施します。なお、研修内容については、実施状況等を踏まえながら見直し・改善を図ります。

また、各学校において、校内人材育成計画に基づき、教育センター等で実施する校外研修と連携したOJTを実施するなど、校内研修の充実に向けた取組が一層推進されるよう、引き続き学校の支援を行います。

1

若手教員の育成

初任から3年間にわたる研修を通して、教師としての基礎・基本の定着を図ります。

- ◆初任者研修
- ◆教職経験2年次教員研修
- ◆教職経験3年次教員研修

2

推進リーダーの育成

中堅教員としてチーム力を高め、組織的に学校の教育課題の解決や教育活動の推進に資する人材の育成を図ります。

- ◆教育活動推進リーダー育成研修
- ◆学校運営推進リーダー育成研修
- ◆子どもの学習意欲を高める授業探究研修

3

管理職の育成

学校組織のリーダーとしての自覚を深め、広い視野に立って、総合的に組織を経営する管理職の育成を図ります。

- ◆新任、経験3年次園長・校長研修
- ◆新任、経験2年次、経験3年次教頭研修
- ◆管理職研修Ⅰ～Ⅳ（選択研修）

子

子どもの理解

一人一人の子どもや学級の状況を把握し変化をとらえる力

個々の子どもや学級、学年全体のことについて、背景を踏まえ、多角的に分析できる力

授

授業づくり

自己の実践する授業を、振り返りを通して分析できる力

学力調査等に基づき、自校の課題を評価・分析し、課題を明らかにする力

マ

マネジメント力

学級経営や教科経営を客観的に評価し、改善する力

分掌や学年を客観的に評価し、改善する力

学校経営計画の実現に向けて、学校の現状を客観的に評価し、改善する力

豊富な教職経験と高度な知識や熟練した技能を活かし、教職員の力量形成を支援・指導